

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1、地震・豪雨など災害に強い街づくりを</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>今後30年間で発生する可能性が高いとされる南海トラフ地震や気候変動による線状降水帯など身近で大きな災害が予測され、ライフラインの耐震化なども含めた災害対策が自治体に求められている。</p> <p>一方60年～70年代高度経済成長にともなう人口増に対し、3大都市圏への人口の流入と併せて周辺の都市にも住居の確保のため、丘陵地を削って、谷を埋める切土、盛り土の工事が行われてきた。しかしこの間、地震や豪雨により、盛り土や急斜面が崩れ、大きな被害が各地で起きている。そのたびに新たな法の制定や改正がされている。果たしてどこまで人命を守るもの</p>	<p>(1) 瀬戸市域の多くが砂防の指定地となっていることから堰堤の設置について</p> <p>(2) 市街地における土砂災害等危険箇所への対策について</p> <p>(3) 大規模盛土造成地について</p>	<p>① 現在、市内の土石流危険渓流は77箇所とされたが、そのうちの18箇所には堰堤が設置された。残りの59渓流における堰堤の設置はどのような計画とされているか。</p> <p>② 市として危険度の高い箇所や緊急性の高い箇所などについて、国や県の指定外の内容についてはどのような話し合いがされているか。市として県に対し積極的な取り組みが必要と考えるがどうか。</p> <p>① 県によって16箇所が指定され12箇所の防災対策工事が完了し、残りの4箇所中3箇所については現在工事中、1箇所は未工事と伺う。今後の工事計画はどのように進める計画か伺う。</p> <p>② 県の基準（急傾斜地崩壊対策事業要件30°以上、5m以上、5戸以上の傾斜）以外にも、市側として危険箇所については（直下を道路が通る地域など）積極的な働きかけをし、ハザードをかけ工事の対象とするなどの申し入れをすべきと考えるがどうか。</p> <p>① 第1次のスクリーニングでは、主に都市計画基本図での比較（S32年とH27年の地形）で大規模盛土造成地が246箇所選定されたが、どのような基準で選定をされたのか。</p> <p>② 今回、第2次スクリーニングについては、2箇所が選定された。どのように選定をしたのか。</p> <p>③ 第2次スクリーニングではどのような項目の点検がされるのか。</p> <p>④ 選定から外れた244箇所の盛土造成地についての対応はどのようなか。</p> <p>⑤ ③の結果によって、ハザードマップの見直しはどのようにされるのか。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>となっているかが問われている。ハード面の対策は財源と時間がかかるが、粘り強い取り組みこそ必要と考える。そこで、ソフト面の対策も含めた取り組みをどう進めるか伺う。</p> <p>今回は主にハード面での取り組みについて伺う。</p>	<p>(4) 南海トラフ地震発生に際し、市内の地すべり地域や軟弱地盤（流動化）への対応を伺う</p> <p>(5) 豪雨災害への対応の充実を</p>	<p>⑥地盤や構造物の耐震強化が求められるが、これまで耐震化がされている建築物もあり、一定の配慮が必要と考えられる。その補助を国に求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>⑦ケースによっては、移転も考えられるが、移転の補助についても補助金の制度を作る事を国に求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>①南海トラフ地震に対し、市内の震度は殆ど5強とされているが、古瀬戸、長根、效範、菱野団地、本地、山口地域の一部は6弱とされている。それらの地域の原因の分析や対策はどのようにされているか。</p> <p>②東山小学校はかつての池を埋め立てグラウンド、校舎を設置したとされている。そこで地盤は軟弱地盤と考えられるが、校舎建設、グラウンドづくりに地盤の強化をどのようにし、校舎の耐震化の工夫はどのようにか。</p> <p>③山手町の一部斜面には、地すべり地域のプレートが掲げてあるが、ハード面の対策はどのようにか。</p> <p>④また、地震・豪雨への対応はどのように住民に周知されているか。</p> <p>①豪雨による浸水地域として長根地域、(神川、美濃池地区)においては水無瀬川以外にも山口川に流入するバイパスの側溝をつくり、浸水をカバーする方法が取られた。現在池田町の住民の方など、浸水対策の要望を伺うが、その他浸水の恐れのある地域の箇所とハード面での対応を伺う。</p> <p>②降雨の強度によっては浸水のおそれのある建築物については、かさ上げ又は擁壁で浸水を少しでも防ぐことなどが考えられるが、多くの市民に活用される制度の創設や補助の充実をすべきと考えるがどうか。</p>

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(6) 避難所の安全性について</p> <p>(7) 水道・下水道などライフラインをどう守るか</p>	<p>①防災マップで確認すると品野台小学校の隣接地は土砂災害の警戒区域（特別警戒区域）とされている。他にも水南小学校、幡山東小学校なども警戒区域の隣接地であるが避難所に指定され、この間の瀬戸まちトークでも危険ではないかとの意見が出されている。改めて地震時におけるそれぞれの避難所の安全性について再検討をすべきと考えるがどうか。</p> <p>②地震に際しては東山小など軟弱地盤のグラウンドに市民を集めて安全かなどの声もある。避難所としての対応策はどのように考えられているか。</p> <p>③下品野連区の瀬戸まちトークでは豪雨や台風に対して浸水の可能性もあるなど、避難所としての交流センターの機能が問われている。改めて再検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>④地域によっては要配慮者の多い地域もある。1箇所の避難所の体制ではなく、分散避難体制も考え、防災訓練もそれに応じた形を取り入れるべきと考えるがどうか。</p> <p>①下水道の重要な管路についてはほぼ耐震化は完了（97%）と記載（第1次瀬戸市地震対策アクションプラン）されているが、残りの3%はどのように計画がされているか。</p> <p>②地域防災計画において、令和2年に瀬戸市地震対策アクションプランの見直しが行われたが、浄水施設の耐震化率は令和元年では36.6%であり、目標値を上回っているが、今後どのような取り組みをしていくのか。</p> <p>③水道施設では管路の耐震化率は令和元年で8.9%と低く問題と考えるが、今後どのように耐震化に取り組まれるか。</p> <p>④大規模地震時において、避難所への水の供給は重要であるが、どのような対応を考えているか。</p>

(3ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(8) 人命を守ることができる防災と街づくりについて	<p>①急傾斜地においては(斜面の角度が小さくても)地質や土地の履歴、水位などの調査を通じて国、県として危険地域(地帯)を特定し造成や建築を禁止するなどの規制をし、その場合、移転費用の充実を国に求めるよう自治体としても申し入れるべきと考えるがどうか。</p> <p>②とりわけ警戒又は特別警戒区域に隣接している高齢者施設については、安全な地域で入居者が生活できるように、施設の移転については移転費の補助を国としても充実させるよう申し入れるべきと考えるがどうか。</p> <p>③学校・公民館など避難所に指定されている建物の隣接地が警戒地域又は特別警戒地域に指定されている場合は、定期的な擁壁の調査、点検を行う事や校舎、公民館1Fの強化を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>④新しく宅地造成等規制法の一部改正が行われた。熱海の土石流での惨事がきっかけとされるが、危険な盛土を包括的に規制するとされている急傾斜地を含めて人家等に危害を及ぼしうるエリアについて都道府県知事が規制をかけるが、瀬戸市としてはどのような地域が考えられるか。またエリアの地形、地質に応じて災害防止のための必要な許可基準を設定するとされるが市としてどのような内容が考えられるか。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。